

## 都内の放射能汚染調査結果について

2012年6月11日

日本共産党東京都議会議員団

**調査対象** 1時間当たりの空間放射線量（マイクロシーベルト）と土壌などの1キログラムあたりの放射性核種濃度（Cs134+Cs137）（ベクレル）

**調査地点** 空間放射線量 = 116地点（1年前の測定点を、できる限り抽出した）  
土壌の放射性核種濃度 = 55地点。（都民が日常生活の中で接しやすい場所を中心に測定地点を選んだ）

**調査日** 2月15日、3月2日～4日、5月4日～6月10日

**調査目的** 都内の放射能汚染が、今でも高レベルの所があるとの報告を都民から受け、被災から1年後のホットスポットと思われる土壌汚染状況について、都民の間で共通認識にできるように、出来る限り広範囲に測定すること。

1年前と比較して、放射線量の減衰傾向を見ること。

### 結果について

**土壌の放射性核種濃度が4万Bq/kg以上の地点が6地点、最高値は251,000Bq/kg**

住所	濃度(Bq/kg)	備考
1 葛飾区水元公園	251,000	第2駐車場内のいわゆる「黒い土」
2 葛飾区水元公園	112,000	公園の植込み内
3 江戸川区平井3丁目	55,000	団地内空地の隅。公園、保育園が近接。
4 葛飾区東金町8-24	49,700	江戸川土手下にある施設
5 葛飾区西水元1丁目	44,300	民家出入口の街路脇
6 墨田区八広6丁目	42,400	荒川の河川敷内の道路脇

高濃度の土壌が測定された葛飾区水元公園の「黒い土」は、第2駐車場内に分布している。植込み内の土は、落葉、公園内の清掃時に回収した側溝、池の泥、腐葉土と思われるようなものが積み盛られたもので、同公園内では他所にも見受けられ、その空間放射線量は格段に高い。放射性物質の凝集、濃縮が疑われる。

8000Bq/kg以上の地点は、34地点。中央区、港区、墨田区、江東区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区に分布していた。

これらの地点に共通しているのは、都民が日常的に利用している場所であり、雨水が流れ込み溜まり易く、かつ水はけの悪いことである。こうした地点については、除染をしないかぎり、放射性セシウムが蓄積・集中し、単純に時間が経てば拡散・減少す

ると見ることはできないと考えられる。こうした地点の一つである葛飾区東金町のポンプ場入口は、昨年7月の測定では空間線量が1m高で0.37 $\mu$ Sv/h、5cm高で1.14 $\mu$ Sv/hだったが、今回の測定で0.38/1.50、土壌の汚染濃度は49,700Bq/kgだった。

**地上1m高の空間放射線量は、1年前と比較し50～60%程度に減衰している地点が最多**

	1年前と比較した線量の割合	箇所数（割合）
地上1m高	50%以下に減衰	11（18%）
	50～60%に減衰	21（35%）
	60～70%に減衰	16（27%）
	70～100%に減衰	6（10%）
	減衰していない	6（10%）

大きく減衰している地点の特徴は、もともと追加被ばく線量が少量、多くの人たちが踏み入れている地面上、雨などが溜まらず流れやすい所である。

雨水が流れ込み溜まり易く、かつ水はけの悪い地点では、減衰せず、上昇している。

**除染を進めてきた保育園・幼稚園では、50%以下に減衰している地点が最多。**

	1年前と比較した線量の割合	箇所数（割合）
地上1m高	50%以下に減衰	4（44%）
	50～60%に減衰	3（33%）
	60～70%に減衰	1（11%）
	70～100%に減衰	1（11%）
	減衰していない	0（0%）
地表面	50%以下に減衰	8（57%）
	50～60%に減衰	2(15%)
	60～70%に減衰	1(8%)
	70～80%に減衰	2(15%)
	80～90%に減衰	1(8%)

上記表は除染後の数値と比較したが、除染前との値を比較すると50%以下に減衰している地点は、さらに増える。

以上

**< 高濃度の放射線が検出された土壌を採取した主な地点 >**

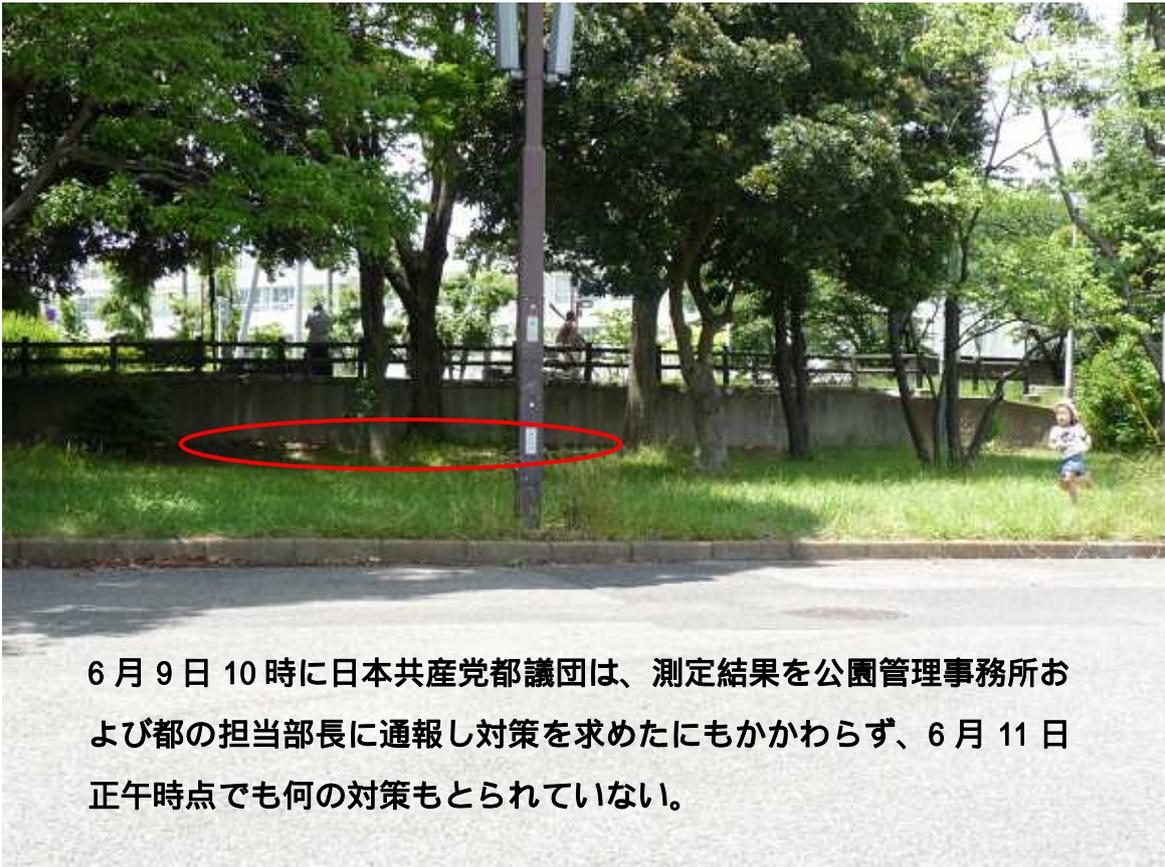
1-1. 葛飾区水元公園第2駐車場の「黒い土」(0.27/1.99 $\mu$ Sv/h 251,000Bq/kg)



1-2. 第2駐車場の「黒い土」の拡大写真



2 . 水元公園の第 2 駐車場 ( 1.10/7.60  $\mu$  Sv/h 112,000Bq/kg )



3 . 江戸川区平井 3 丁目 ( 団地内空地 ) ( 0.32/2.61  $\mu$  Sv/h 55,500Bq/kg )



4 . 葛飾区東金町 (ポンプ場) (0.38/1.50  $\mu$ Sv/h 49,700Bq/kg)



5 . 墨田区八広 6 丁目 (0.48/0.95  $\mu$ Sv/h 42,400Bq/kg)

